

京都・丹後ものづくりアイデアソン 2020 開催概要

1 趣 旨

丹後地域では、機械金属業、織物業、観光業、農林水産業など、地域の特性を活かし、また、長年の歴史と伝統に培われた技術を活かした様々な産業が展開されています。

一方で、丹後地域は少子高齢化の進行や、自動車関連部品を中心に基幹産業に成長した機械金属業における市場動向の変化など、地域の社会経済を取り巻く環境は大きく変化しつつあります。

京都府では丹後地域の活性化を支える産業基盤として、織物業・機械金属業など「ものづくり産業」等の地域産業について、新製品の開発や担い手の確保・育成により、地域産業の振興を進めています。

こうした取り組みの一環として、丹後地域の数多くある地域資源を活用した新製品や丹後地域に新たな価値を生み出すイノベーションのアイデアなどについて検討いただくアイデアソンを開催します。

なお、開催にあたりアイデアソンでのヒントとなるアイデアを事前に募集します。アイデアは当日参加の可否にかかわらずどなたでもご応募いただけます。

※アイデアソン (Ideathon) とは、アイデア (Idea) とマラソン (Marathon) を掛け合わせた造語です。

多様性のあるメンバーが集まり、ある特定のテーマについて、対話やワークショップを通じて自由にアイデアを出し合い、新たなアイデア創出やビジネスモデルの構築などを短期間で行う手法やイベントを指します。近年は、IT 業界や商品開発・地域活性化等の場面で開催されています。

2 内 容

【第1部：講演】※講演のみの参加も可能

自社技術を活かし、「下請型」から独自製品を開発する「市場創造型」企業へ転換した取り組みについて、豊富な事例を交えながらご講演いただきます。

<講演> 「イノベーション技術構築と事業化展開」

高橋金属株式会社 執行役員・技術開発部長 西村 清司 氏

【第2部：アイデアソン】

丹後地域の基幹産業の一つである機械金属業と地域資源を活用した様々な他産業を活性化させるアイデアを下記のテーマに基づいてグループで考えていただきます。

グループ分けは全体のバランスを考え、主催者側が調整する場合があります。ご希望のテーマに添えないことがありますので、予めご了承ください。

<テーマ> 「丹後の地域資源を活かしたものづくりに挑戦」

Gr①	農林×機械金属	Gr②	水産×機械金属
Gr③	環境×機械金属	Gr④	織物×異業種

各グループにファシリテーターがつき、皆様との活発な意見交換となるようグループワークを進行いたします。

<参 考>丹後地域資源の例

機械金属製品	丹後ちりめん	丹後産コシヒカリ	間人ガニ
約 200 社の機械金属関連企業が集積し、地域経済の一翼を担う	全国の染呉服素材である白生地生産量の約 60%を占める	米の食味ランキングで最高ランク「特 A」を 12 回獲得	少ない水揚げ量と徹底した品質管理から、全国的にも最高級の呼び声が高い

(京丹後市知的資産経営報告書より)

3 日 時

令和 2 年 2 月 26 日 (水) 午後 1 時 30 分～午後 6 時 00 分

2 月 27 日 (木) 午前 9 時 00 分～午後 4 時 00 分

4 場 所

丹後・知恵のものづくりパーク コラボレーションゾーン

(京都府京丹後市峰山町荒山 225 番地)

5 タイムテーブル

1 日目 (2020/2/26)		2 日目 (2020/2/27)		
時間	プログラム	時間	プログラム	
第 1 部 13:30-14:30	講演	第 2 部 09:00-12:00 12:00-13:00 13:00-14:30 14:30-15:45 15:45-16:00	テーマワーク (アイデアのブラッシュアップ)	
第 2 部 14:45-17:30	・アイデアソンの説明 ・アイスブレイク ・知識のインプット ・テーマワーク (アイデア出し)		休憩	
	17:30-18:00		中間プレゼン	テーマワーク (発表準備)
	18:00-19:00		懇親会 (希望者のみ)	最終プレゼン
			講評	

※当日の進行状況により、変更の可能性があります。予めご了承ください。

<第 2 部アイデアソンの主な流れ>

①知識のインプット

テーマに関する現状・課題等、アイデアを創出する上で必要となる前提知識を説明します。

②アイデア出し

各グループで情報収集を行い、具体的なアイデアを議論していきます。

③アイデアのブラッシュアップ

各グループで決定したアイデアの実現可能性を高めるためのブラッシュアップを行います。

④発表

各グループがまとめたアイデアを発表します。

6 ファシリテーター

かわきた 川北	あつし 眞史	教授	京都工芸繊維大学工芸科学部デザイン経営工学課程
みむら 三村	みつる 充	助教	京都工芸繊維大学工芸科学部デザイン経営工学課程
まつおか 松岡	けんじ 憲司	名誉教授	龍谷大学
つじた 辻田	もとこ 素子	教授	龍谷大学経済学部現代経済学科
ジョン 鄭	ニヨンホ 年皓	教授	福知山公立大学地域経営学部地域経営学科

7 参加条件

- ・全日程に参加できる方。
- ・参加規約に同意いただける方。
- ・企業、大学に在籍の方などで、在住の地域は問いません。

8 参加費

無料（ただし、イベント会場への交通費や期間中の食費等は参加者の負担となります。）

9 募集人数

30名程度（参加予定者：企業、学生、金融機関、行政関係等）

10 申込方法

「京都・丹後ものづくりアイデアソン 2020 参加申込書（別紙1）」、「京都・丹後ものづくりアイデアソン 2020 アイデア応募用紙（別紙2）」の提出については、電子メール又はFAXで下記申込先までお申し込みください。参加申込書及び応募用紙は以下のホームページからもダウンロードできます。

■京都・丹後ものづくりアイデアソン 2020 ホームページ

<http://www.pref.kyoto.jp/sangyo-sien/news/ideathon2020.html>

11 申込締切

令和2年2月24日（月）午後5時まで（参加申し込み、事前アイデア募集）

※申込者多数の場合は、先着順とさせていただきます。

12 申込先・問い合わせ先

京都府商工労働観光部ものづくり振興課

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入

TEL 075-414-4852 FAX 075-414-4842

E-mail monozukuri@pref.kyoto.lg.jp